

擧

～けやき～

成田市立中台中学校 学校だより

文責：内田 淳

令和6年 1月26日(金) Vol.37

学校教育目標 『自ら学び、豊かな心を持ち、たくましく生きる生徒の育成』

「仲間も、自分も、大切にしよう」

「あきらめずに、取り組もう」

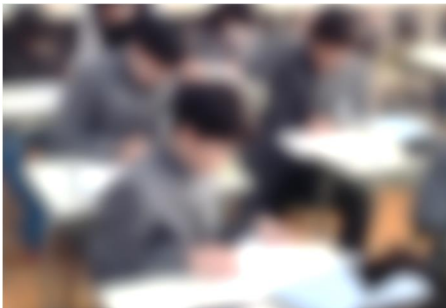


【ホームページへ】

3年生の皆さんへ

県内の私立高校の入試日程が、ほぼ終わりました。どんなに一生懸命準備をしても、見知らぬ会場で試験を受けるのですから、誰でも緊張するものです。しかも、「きちんと行動しなくちゃ」「いい得点を取らなくちゃ」などと、誰もが知らず知らずのうちに、自分自身にプレッシャーをかけてしまうものです。そのような状況を乗り越えて、入試に取り組んだ皆さん。お疲れ様でした。

結果発表の日、私たち教職員も落ち着いた気持ちでした。きっと、お子さんとともに過ごし、見守ってきた保護者の皆さんの胸中は、計り知れないものだったことでしょう。



【数学は、1に過去問、2に演習、34がなくて5に質問タイム】

【英語はディベートに挑戦。弁当と給食、どちらがよいでしょう？】

【勉強と同じくらい、清掃も頑張っています。卒業まであと31日…】

あと3週間あまりで、公立高校の入試です。現在、教室には、既に進学先が決定している生徒と、これから入試を控えている生徒とがいます。これまで、何でも力を合わせて一緒に活動してきた仲間と、別々の結果を得ることもあります。気配り、思いやり、想像力が大切になる時期だと考えます。

どのような結果であっても、まずは一人ひとりがしっかり受け止めていることと思います。また、3年生の皆さんは、周りの気持ちを考えて、互いに思いやりながら生活できている、と感じています。

「結果が出た後のこと」について、私から2つ、メッセージを贈ります。これからの生活、自分のこと、仲間の気持ちなどを考えたり思い浮かべたりしながら、ぜひ読んでください。

進路が決まった人へ

ここに至るまで、あなた自身の努力があったことは間違いありません。そして、それと同じくらい…いいえ、それ以上に、周囲の人が、あなたを支えてくれていることを、今一度、思い起こしてください。何よりもまず、家族の方々に、自分なりの表現で、最大限の感謝の気持ちを表してほしい、と心から願います。

偉業を成し遂げたアスリートや、研究者、実業家などのインタビューを見聞きすると、必ずと言っていいほど「支えてくれた皆さんのおかげで…」と、周囲の人への感謝の気持ちを述べています。

あなたが1人で、悩み、苦しんでいるとき、すぐそばで、同じような気持ちを抱えながら、じっと見守ってくれた人が、必ずいます。その存在を、どうか大切にしてください。

次の入試を控えている人へ

不安を抱きつつも、頑張るあなたに、私たちは敬意を表します。あなたの人生は、これからも未来に向かってずっと続きます。前進し続ければ、次のチャンスに出会えるときが、必ず来ます。結果だけにとらわれず、不安感に惑わされず、元気に進んでほしいと願っています。

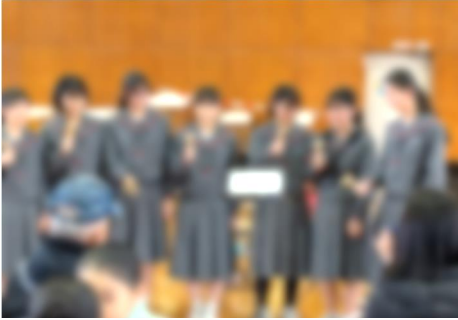
人は、歩き続ければ、いつか転ぶことがあります。それでも、痛みで顔をゆがめながらも、歩き続けていくと、転んで痛めた部分がどんどん丈夫になって、痛みやケガに強くなります。転びにくく、ケガをしにくい体で、自信をもって歩けるようになれば、あなたはきっと、チャンスをつかむことができるでしょう。

あなたの未来は、気持ち次第で、可能性が広がり、選択肢が増えていくものなのです。

あなたが次の一歩を踏み出すことを、私たちは心から期待し、応援しています。

ふれあい文化祭を終えて

20日(土)、中台小学校の体育館にて、青少協(青少年健全育成協議会)主催の「ふれあい文化祭」が開催され、吹奏楽部が出演して、3曲披露しました。



【ハンドベルを鳴らして、開幕をかわいらしく演出しました】



【「アメリカ民謡ファンタジー2」は、誰もが知っている曲のメドレーです】



【「ジャンボリミッキー」では、小学生が踊りまくっている様子が伝わるでしょうか】



【一生懸命演奏した後は、じゃんけん大会に臨んで、ジュースやお菓子をゲット。部長は、「中学校に入ったら、ぜひ吹奏楽部に入部してください!」としっかりアピール】

この日の指揮は、教育実習に来ていた〇〇さん。1曲目の「アイドル」で華々しくスタートしました。2曲目の「アメリカ民謡ファンタジー2」は、様々なアメリカ民謡のメドレー。「アルプス一万尺」のフレーズが流れると、傍にいた小学生が、曲に合わせて手遊びを始めました。3曲目、おなじみの「ジャンボリミッキー」では、部員たちがステップを踏みながら演奏すると、チアダンスのチームも一緒に踊り、つられて客席の小学生たちも踊り出し、あたかもテーマパークのようでした。

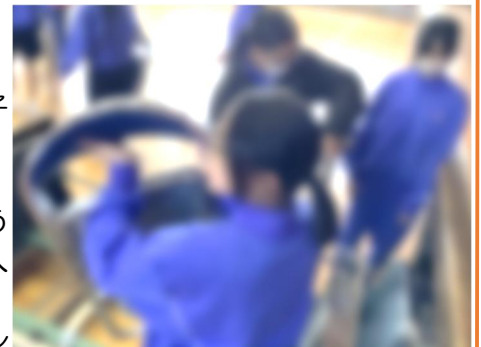
会の最後には、子ども(中高生を含む)を対象とした、抽選会やじゃんけん大会があり、雑貨やお菓子、ジュースをもらって、みんな、ほくほく顔です。子どもたちの発表や抽選で喜び姿を、地域の方々が、目を細めて見つめていました。幼い子どもからご高齢の方までがふれあい、一緒に楽しむことができ、賑やかで温かいひとときでした。

育ちゆく子どもたち

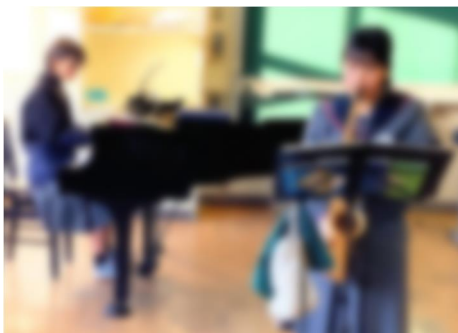
19日(金)、新入生保護者を対象とした「思春期子育て講座」が開かれました。講師は、〇〇先生。現在は、登校や学校生活に悩む親子の支援に関わる仕事をしています。

〇〇先生は「思春期は、心と体の成長がアンバランスになる時期。正義感が強くなり、自分を客観視するようになり、安定を求めるようになるなど、成長とともに心が揺れ動くもの。そのような中で、大人に反抗するようになるのは、健全な成長の証です」と話されました。

もちろん私も、かつては親に反抗し、口答えをし、ろくに返事をしなかった時期がありました。保護者の皆さんも、きっとそういう経験があったことでしょう。誰もが、大人にぶつかりながら自分を見つめて、大人になっていくものなのですね。



【この日の会場準備は一年生女子。体育の授業の間に、手際よく取り組みました。終了後は、卓球部が、あっという間に片付けてくれました。すばらしい機動力!】



【27日(土)に催される「千葉県吹奏楽個人コンクール・木管楽器部門」で、〇〇さんが、〇〇さんのピアノ伴奏とともに発表します。応援していますよ!】

〇〇先生は、講演の結びに「子どもに対しては、アドバイスよりも、気持ちを聞くようにするとよいです。また、保護者が1人で問題を抱え込まないようにし、保護者も適度にリフレッシュしてほしいです」と話されました。

学校生活の中でも、自分で考えて行動するようになったり、友達の一言で改善・向上したりするなど、生徒は、それぞれの歩幅で、日々成長しています。それでも、悩んだり、立ち止まったりするものです。その歩みを、つかず離れず見守っていきたいと考えます。

今週は、各学級で教育相談が行われました。担任の先生が耳を傾ける中で、話しながら、方向性や見通しや、とりあえず頑張ってみることなど、何かをつかむきっかけにしてほしいと願っています。

保護者の皆さんも、気になることは、お気軽にご相談ください。